



連日、多くのお客様でにぎわうフルーツ観光園

## ようこそ！フルーツ王国へ

日本一の果実郷は実りの季節真っ盛り！  
初夏のサクランボから晩秋のぶどうまで、  
果実郷の実りはまだまだ続きます。

■特集① 座談会：新議長と語る テーマ「甲州市の今と未来への提言」	P 2～
■特集② 6月定例会レポート 議案の審議 ・国の追加経済対策により各事業を実施 ・県立射撃場移転設置に関する請願を不採択	P 6～
■一般質問 9人が登壇し、市政を問う ・市長は再選を目指す考えがあるか ・国民健康保険税の資産割は廃止されるのか ・子どものインフルエンザ予防接種、2回目も助成を	P 8～ ほか
■市民フォーラム「市内のイベントについて」	P 17
■委員会レポート	P 18～



# 座談会：新議長と語る 甲州市の今と未来への提言



## 子どもたちが 誇れるまちづくりを

今年の11月で甲州市が誕生して5年目を迎えます。平成20年3月には、市政の指針となるまちづくりプランが策定され、「豊かな自然、歴史と文化に彩られた果樹園交流のまち」を将来像に、各事業が行われています。しかし、長期化する景気の低迷や少子高齢化の進行など、対応しなければならぬ課題があります。このような状況下で、甲州市のまちづくりには何が求められているのでしょうか。

今回の座談会は、3月に就任した平塚義議長が、各分野で活躍される3人の皆さんと甲州市のまちづくりについて話し合いました。



甲州市議会

平塚 義 議長

**議長** 本日は、それぞれの分野で活躍される皆さんに、甲州市の今と未来のまちづくりについて、ご意見やご提言をお聞きしたいと思います。はじめに甲州市が誕生して4年が経過しますが、これまでのまちづくりに対する印象や感想をお聞かせください。

**天野** 合併後、大和地域にも学童保育が始まり、子育て

支援の充実が図られたことは喜ばしいことです。しかし、合併前に「サービスは高く、負担は低くする」という説明を受けましたが、現実は違っていることが多いと感じています。

**窪田** わたしは、ぶどう栽培をして観光農園を営んでいます。各農家の経営状況は厳しいことから、抜本的な





ぶどう栽培農家

窪田祐一さん

(勝沼町勝沼)



子育てネットこうしゅう代表

坂野さおりさん

(塩山上於曾)



元教諭

天野眞由美さん

(大和町鶴瀬)

振興策が求められています。  
**坂野** わたしが子どもの頃の塩山駅前通りは、商店街として活気がありましたが、現在の状況を見ると寂しい気持ちになります。市で策定したまちづくりプランによって、市内の新たな発展を期待しています。

**議長** 甲州市は全国有数の果樹産地ですが、各農家を取り巻く状況は、後継者不足による耕作放棄地の増加、販売価格の低下など、多くの問題や課題があります。活力ある果樹産業を実現するために必要なことは何でしょうか。

**窪田** 第一には農家の自助努力が不可欠です。その上で就農や営農に対する行政支援がポイントになります。単発的ではなく、長期的に安定した農業経営を図るための取り組みを最優先に考えるべきではないでしょうか。

**天野** 農業経営は厳しい状況ですが、農業の魅力が見直され、若い世代の就農が増加しているようです。この状況をチャンスと捉え、みんなで英知を出し合って、果樹やワイン、史跡などの観光資源をアピールしながら、魅力ある果樹園交流のまちづくりを進めてほしいです。その意味で

「あるくこうしゅう」と銘打ったフットパス事業は、有効な取り組みだと思います。

**坂野** 消費者の視点で考えると、甲州市勝沼のブランドを生かすことが効果的だと思います。そして地産地消も進めながら、自信を持ってアピールすることが活性化への近道になると考えます。

**議長** 魅力ある産地づくりは、住民の皆さんと行政との協力が不可欠です。議会としても集客力の向上を図るための調査や研究をしていきたいと思えます。

### 前向きな気持ちで 子育てを楽しめるまち

**議長** 次に、子育て支援について伺います。わが国では少子化が進行しており、各自治体でも各種の対策に取り組んでいます。出生率は低下傾向にあります。これから、安心して子どもを産み育てるために求められることは何でしょうか。

**坂野** 行政からの子育て支援は多くありますが、親たちが支援情報を把握しきれないと感じます。妊娠から出産、そして子育ての中で親たちにとって大切なのは、精

神的な安心です。そこで市内にも子育て情報などを常にキャッチできる支援センターを設けて、子育ての安心を提供できないかと考えています。

**天野** 子育ては未来をつくることです。ですから子育てしやすい環境づくりは、優先されるべきだと思います。

**窪田** 子育ては費用が伴います。母親が出産後や子育て中に就労ができる環境があれば、経済的にも安心できるため、出生率も上がるのではないのでしょうか。

**坂野** 経済的な充実もですが、楽しく前向きな気持ちで子どもを育てる事は、いつの時代も大切な事です。「甲州市は育てやすい。楽しく子育てできる」という気持ちだが、2人目以降の出産につながるのではないのでしょうか。子育て環境を整え、母親も働きやすく自分のスタイルを楽しめるまちなれば最高ですね。

**議長** わたしは子どもたちがいたから、仕事や家庭生活が充実しましたが、振り返ってみると必ず周囲の協力がありませんでした。ですから今の時代だからこそ、家庭・地域・行政からの支援を、有効に受け取ることができる仕組みづくりが必要だと感じています。



# 座談会・新議長と語る



子どもたちが胸を張れる、そんなまちづくりが求められている

## 「自立する力」を養う教育を

**議長** 甲州市では、子どもたちが確かな学力と生きる力を身に付けるための学校教育や、だれもが生涯にわたって学ぶ生涯学習を推進していますが、心豊かな人を育む教育のまちづくりに必要なことは何でしょうか。

**天野** 学校教育や家庭教育の目標は、自立する力を養うことだと思います。最近はずいぶん必要以上に手を貸してしまうようですが、親の子離れも必要だと感じています。また、地域の山に登るなど、自然体験をとおして、充実感や達成感を体感するこ

とも自立を促すきっかけになると思います。

**窪田** 基本的に学力の向上は、本人の自覚と努力で決まると思います。しかし、「生きる力」や「自立する力」は、家族・学校・地域などの社会生活の中で培われるので、まち全体で子どもたちを育てるための意識づくりが課題になってきます。

**坂野** わたしは子育ても生涯学習のひとつと考えています。親子の触れ合いにより、親も成長できると実感しているからです。人間性や生きる力などは、乳幼児期の愛情も大きく関係します。この時期を大切にすることが、人の心を育むスタートにつながると思っています。

**議長** 市による教育行政は、義務教育の充実が主要施策になっていますが、多様化する教育環境に対応するための体制づくりが必要であると考えています。

次に、環境保全について伺います。現在、地球的規模で環境問題が深刻化していることから、わたしたちは環境保

全について、高い意識を持たなければなりません。そこで、豊かな自然と総合的な生活環境を守るために、日頃から皆さんが実践していることや考えていることがあればお聞かせください。

**窪田** 河川の汚れが気になります。河川の汚れは、景観や観光面にも影響があり、不法投棄を誘発するなど良いことは何もありません。塩山地域は、河川一斉清掃日があるようですが、市内全域で実施してほしいと思います。

**天野** わが家では、約4年前から「まきストーブ」を設置しています。冬の暖房はストーブだけで、燃やした後の灰は畑にまいています。エコな生活を実践できるので、と

てもお勧めです。設置には少し費用が掛かるので、市からの助成制度などがあれば、取り入れる家庭が増えると思います。

**坂野** 最近、レジ袋の代わりにエコバックなどの利用が浸透していることから、近所の空き地や水路へのポイ捨てが減りました。甲州市は固有の景観を持つ観光地でもあるので、この状況が広がってほしいです。

**議長** 勝沼地域と大和地域は、ごみの分別収集の細分化が遅れているため、効果的な啓発が必要と考えています。社会全体では、ごみを「減らす」「再利用する」「再資源化する」ための仕組みづくりを急ぐ必要があります。

## 小さな活動の積み重ねが大事

ださい。

**議長** これからは、住民と行政が協働するまちづくりが求められます。その中で市民の皆さんが主体的に行う地域活動やコミュニティ活動などは、まちを活性化する大きな力として期待されています。そこで皆さんが行ってきた活動の中で、気付いた事や課題

**天野** 旧大和村で行っていた公民館活動の仲間とメリーマムズ（愉快なかあちゃん）と名付けたサークルをつくり、週1回のジャズダンスに汗を流しています。さらに市内のお祭りや催し物にボランティアとして参加しています。これは自主的な活動なの





熱のこもった座談会。参加者の皆さんからはまちづくりに対する前向きな意見が出された

で、やり甲斐や充実感を感じています。派手な活動ではないですが、縁の下の力持ちという気持ちで、少しは地域の活性化に貢献していると自負しています。行政に求めるだけでなく、自分たちができることを見つけていることは楽しいと感じています。

**窪田** 「ぶどう棚が連なる

勝沼の景観を守りたい」、「地域を活性化させたい」という思いから、近所の若手が集まり「勝沼ぶどう園通りプロジェクト」を立ち上げ活動しています。やはり天野さんたちと同じで、小さな活動を積み重ねることが大事であり、意識を持って行動することが地域の活性化につながると考えています。

**坂野** わたしは「子育てネットこうしゅう」という団体の代表をしています。今後も子育てサークルや乳幼児の親子に対するネットワーク活動を続けていきたいです。わたしたち一人ひとり、まちを変える力を持っています。出産をして、子育てに奮闘している皆さんは、それ自体がまちづくりへの大きな参画であり、貢献であると思います。そして市が主体的な活動に対しては、しっかりとした理解とバックアップをすれば、行政と市民による協働のまちづくりが実現するのではないのでしょうか。

**議長** 皆さんのそれぞれの活動は、まちづくりの原動力です。市議会としても市政とのパイプ役として、支援していきたいと考えています。

## まちづくりは市民が主体

**議長** ここまでは各テーマに沿ってご意見を伺いましたが、行政運営に対して要望などはありますか。

**窪田** 景観保全と自然を生かしたまちづくりが一番の願いです。そして田辺市長も公約している、通年型観光を実現してほしいです。それにはまず、駐車場、休憩所、トイレ施設などハード面の整備が必要だと思っています。

**天野** 経済状況の低迷により、地方交付税や市税などの収入は少なくなり、市の財源は限られています。現在、甲州市の予算は決して豊かではないことは明らかですので、予算の使い道を精査し、本当に必要なものに使ってほしいと感じます。

**坂野** 日頃から市役所には柔軟性を持って対応してほしいと感じています。行政機関には、フットワークや横の連携が求められています。「前例がないからできない」とか「担当課ではないから」とか協働のまちづくりということにはならないと思います。  
**議長** 最後に皆さんは、こ

れからの甲州市をどのようなまちにしていきたいですか。

**天野** 自分の生まれ育ったこの甲州市を、子どもたちが胸を張って誇れるようにしたいですね。それには、市行政の意欲と努力が必要です。いろんな情報を集めたり、アイデアを出しながら、新たなことに挑戦するなど、熱意を持ってまちづくりのかじを取ってもらいたいです。

**窪田** 同感です。ここに生活する自分たちが、満足感と誇りを持てるまちをつくりたいです。

**坂野** 加えて市民が主体になることが大事です。人任せではなく、自分たちが前向きに考えて行動する。そんな甲州市だと頼もしいですね。

**議長** これからも市民の皆さんと協働しながら、より良い未来を目指して研さんすることが議会の責務であると感じています。今回、皆さんからいただいた貴重なご意見をまちづくりに反映できるように、努力していきたいと考えています。本日はありがとうございました。



# 国の追加経済対策により各事業を実施

## 市内の雇用促進住宅を購入

平成21年甲州市議会6月定例会は、6月5日から22日までの18日間の会期で開かれ、平成21年度一般会計補正予算案や特別会計補正予算案、条例案、請願、議員発議案など20件の事件について慎重な審議を行いました。最終日には、「県立射撃場移転設置検討委員会の設置を求める請願」について討論・採決が行われました。

◆平成21年度甲州市一般会計補正予算（第2号）は、1億9966万6000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ151億8766万6000円としました。主な歳出内容は、総務費として公共施設整備基金積立金などに5288万3000円、民生費として赤尾保育園整備事業補助金などに7668万3000円、商工費として、まほろばの里ふるさと振興財団運営補助金に470

0万円を追加しました。主な歳入内容は、地方交付税へ7761万7000円、県支出金へ7164万9000円、寄付金へ5040万円を追加するもので、可決しました。

◆平成21年度甲州市一般会計補正予算（第3号）は、国の追加経済対策に伴う、地域活性化・経済危機対策臨時交付金等の事業について、3億1821万5000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ155億58

8万1000円としました。主な歳出内容は、民生費として在宅高齢者等火災報知器支給事業などへ2676万6000円、衛生費として女性特有のがん検診推進事業、新型インフルエンザ対策事業費などに1257万9000円、土木費として雇用促進住宅購入費に1億6006万5000円、消防費として林野火災時の散水器ジェットシューター購入費などへ686万円、教育費とし

て小中学校地上デジタル放送対応テレビ購入費などに6135万5000円を追加しました。歳入内容は、国庫支出金として地域活性化・経済危機対策臨時交付金などに3億1821万5000円を追加するもので、可決しました。

◆塩山北小学校屋内運動場建設工事の請負契約を可決しました。一般競争入札により、契約金額は1億9068万円、請負業者は植野興業株式会社（甲州市塩山）と株式会社高野建設（甲州市勝沼町）の共同企業体となりました。



請願

# 県立射撃場移転の

## 検討委設置請願を不採択

◆「県立射撃場移転設置検討委員会の設置を求める請願」が提出され、審議を行いました。この請願は、山梨県が塩山上小田原地内に移転を計画している県立射撃場について、市民の安全・安心を守る観点から、本市に移転設置検討委員会を設置し、市民・有識者・専門家などから意見を聞く中で、その是非の検討を

求めたものです。本会議では、本請願を不採択とした総務常任委員長の審査報告に異議が出されませんが、討論・採決の結果、委員長報告のとおり不採択としました。

■委員長報告に反対討論  
矢野義典 移転計画地に最も近い小松尾組からは、反対の意思が表明されている。また、近隣住民の意見も賛成と反対が

あり、合意形成に至っていない。そのため市民や専門家などで行く検討委員会を設置して、射撃場移転計画の是非を検討すべきと考え、本請願の採択に賛成である。

■委員長報告に賛成討論  
田邊民男 射撃場の建設は推進する意見も多く、地域の活性化や有害鳥獣被害の防止対策にも欠かすことができない。また、6月定例会議会には、約7億円の移転整備費が計上予定である。よって、市民の安全・安心を守る観点から考えると、検討委員会の設置は得策ではない。よって不採択に賛成である。

すべての案件を慎重に審議した6月定例会本会議



■採決結果（総務常任委員長の不採択の報告に対して）

賛成13 都倉義男 廣瀬元久 田邊民男 廣瀬

宗勝 佐藤栄也 岡武男  
曾根益彦 古屋久 廣瀬一 原勝 武藤雅美  
桐原正仁 中村勝彦

反対4 野尻陽子 古屋匡三 廣瀬重治 矢野義典

欠席2 夏八木盛男 丸山国一

### 2件の意見書を 関係機関へ提出

◆6月定例会では2件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。

・「地震財特法の延長に関する意見書」は、東海地震による災害から地域住民の生命と財産の安全を確保するため、地震対策の一層の充実に向け、平成21年度末で期限切れを迎える地震財特法の延長を求めたものです。

・「教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を求める意見書」は、義務教育費国庫負担制度の堅持や国における

教育予算の拡充、少人数教育の実現を中心とする教職員定数の改善などを求めたものです。

### 臨時会 議員報酬の 期末手当を減額

5月26日に市議会臨時会が開催され、条例案や補正予算案などが審議されました。

◆甲州市長等の給与及び旅費条例等の一部を改正する条例制定については、市長をはじめ市職員に対して、平成21年6月に支給する期末手当等の額を暫定的に減額するもので、可決しました。減額率は、市長等の特別職が期末手当を0・15カ月、特定職員及び一般職員が期末手当と勤勉手当を合わせて0・2カ月となりました。

また、議員発議により市議会議員の期末手当を0・15カ月減額する条例改正も可決されました。



# 市政を問う

6月議会では9人が一般質問を行いました。それぞれ要約してお伝えします。

## 一般質問

### 一質

廣瀬宗勝議員

#### Q

市長は再選を目指す考えがあるか

#### A

引き続きかじを取っていききたい

問 定額給付金の支給状況を伺いたい。

答 総務企画部長 6月10日現在、支払い人数は3万4426人、支給金額が約5億3852万円、未申請数は917世帯である。

問 未申請世帯に対する対応はどうするのか。

答 総務企画部長 広報紙等による周知をはじめ、

関係者の協力を得ながら速やかな申請給付に取り組んでいく。

問 新型インフルエンザへの対応を伺いたい。

答 福祉保健部長 部局長で構成する対策会議を設置して対策を講じた。うがい、手洗い、マスク着用の励行や国などからの情報をCATVなどで周知し、対

処方法などを説明したチラシの全戸配布も行った。

問 秋から冬にかけて再流行が心配されるが、対策を考えているのか。

答 福祉保健部長 マスクや消毒液などを備蓄し、保健所等と連携を図りながら予防対策に努めていく。

問 市内に介護保険給付対象者は何人いるのか。また、施設入所の待機者数と寝たきり高齢者の人数を伺いたい。

答 福祉保健部長 第1号被保険者は1万72人、第2号被保険者が1万1897人いる。特別養護老人ホームの待機者は324人、65歳以上の寝たきり高齢者は158人である。

問 介護保険料の滞納対策への取り組みは。

答 総務企画部長 収納

対策連絡会議を設置し、収納向上に努めている。今後は収納対策課の設置も検討していきたい。

問 地域密着型の有料老人ホームと特別養護老人ホームの整備計画はあるか。

答 市長 介護保険事業計画で設置を計画している。6月に事業所の募集を行い、今年度中の完成を目指している。

問 都市計画の総合的な指針である「まちづくり基本方針」策定の考え方を伺いたい。

答 建設部長 一体的なまちの形成、適正な土地利用や施設整備を図るため、市民参加による計画立案を重視しながら策定した。

問 道路交通体系の整備方針を伺いたい。

答 建設部長 人が集い、

活動する拠点と、これらを連携する道路や交通体系軸を効率良くして、機能の充実を図っていく。

問 市内の住宅における火災報知器の設置状況は。

答 総務企画部長 既存住宅の設置状況は把握できていない。

答 建設部長 市営住宅は全戸に設置されている。

問 乳幼児医療費の助成金支給年齢を、12歳まで引き上げる考えはあるか。

答 市長 来年度に向けて、段階的な年齢の引き上げを考えている。

問 塩山中学校校庭に夜間照明を設置する考えは。

答 教育長 現在、市内にある各照明施設で対応が可能と考えている。

問 市長は再選を目指す考えがあるのか伺いたい。

答 市長 第一次総合計画の実行は、わたしの責務と考え、引き続き市政のかじを取っていききたい。次のステップへ向けて誠心誠意、市政執行にまい進する覚悟である。



今年11月の任期満了を控え、再選の意思を表明する田辺市長



# 一般質問

## 一質

廣瀬重治議員

### Q

## 国保税の資産割は廃止されるのか

### A

## 段階的に調整していきたい

問 国民健康保険税は、所得割・資産割・均等割・平等割の4方式による区分で課税されている。資産割は、所得を生まない資産に課税されたり、アパート経営のような所得を生む場合でも、すでに所得割で課税

されているなど二重課税の問題がある。このような状況下で、今年度は資産割が10割引き下がるが経過と状況を伺いたい。

答 福祉保健部長 本市は、応能割（所得割と資産割）の割合が高い。現行税率で課税すると、低所得者に対する国や県からの軽減制度の補てん対象にならない。そこで国の軽減対象の基準である応益割（均等割と平等割）が45割以上になるよう国保運営協議会に諮問し、平成21年度の医療分資産割の税率を35割から25割に引き下げる条例案を今議会に提出した。

問 最終的に資産割は廃止されていくのか。また、現時点における国保税の滞納額を伺いたい。

答 福祉保健部長 滞納状況により、1カ月、3カ月、6カ月の有効期限を定めた短期保険証を交付している。また、資格証明書は1年を超える滞納者に発行されるが、医療機関の窓口で医療費を10割支払った後、申請により償還払いとなる。

## 審議会等の情報が議会議員に届かない

問 本市には一般市民や有識者などで構成する審議会、協議会、委員会などが多数あるが、一人が重複して委員になっていることが多く、また、比較的男性の比率が高くなっている。これから審議会等の在り方をどのように改革していく考えなのか伺いたい。

答 総務企画部長 現在、審議会等の運営に関する基本指針の素案を作成しているところである。

問 審議会や協議会は公

開が原則とされるが、われわれ議員が傍聴することに對する見解を求めます。

答 総務企画部長 法律や条例等で非公開とするものの以外は、開かれた行政を目指す中で公開を進めていかなければならない。庁内の合意を図る中で対応していきたい。

問 議員としての立場から、審議会などの情報は例外を除いて精査しなければならぬ。しかし現状では、開催日時や内容などの知らせが議会に届いていない。これは当局に対して、以前から何度もお願ひしていることである。どのように考えているのか。

答 総務企画部長 開催日時などは、議会事務局に知らせることになっている。不足な点はしっかりと取り組んでいきたい。

問 審議会等の日程をインターネットで公開している自治体もある。市民の皆さんに對する情報提供を行う意味からも、検討が必要ではないか。

答 総務企画部長 情報伝達の手段はさまざまであるため、整理をして対応していきたい。



本市の審議会や協議会などの数は約40。現在、運営に関する基本的な指針づくりが行われている

率で課税すると、低所得者に対する国や県からの軽減制度の補てん対象にならない。そこで国の軽減対象の基準である応益割（均等割と平等割）が45割以上になるよう国保運営協議会に諮問し、平成21年度の医療分資産割の税率を35割から25割に引き下げる条例案を今議会に提出した。

問 最終的に資産割は廃止されていくのか。また、現時点における国保税の滞納額を伺いたい。

答 福祉保健部長 県内では4市が資産割を除いているが、本市も段階的に調整していきたい。滞納額は繰越分と前年度未収額の合計が、約4億2116万円である。滞納世帯数は693件で、収納率は現年課税分が92・88割、滞納繰越分が20・04割である。

問 滞納世帯に對する保険証の交付について、考え方を伺いたい。

答 福祉保健部長 滞納状況により、1カ月、3カ月、6カ月の有効期限を定めた短期保険証を交付している。また、資格証明書は1年を超える滞納者に発行されるが、医療機関の窓口で医療費を10割支払った後、申請により償還払いとなる。



一般質問

議員 三宅 古屋

Q

勝沼 ぶどう郷

駅周辺に駐車場の確保を

A

当面は臨時駐車場で対応する



駐車場の確保が懸案になっている勝沼ぶどう郷駅前。観光シーズンには迷惑駐車も目立っている

問 秋の観光シーズンになると、勝沼ぶどう郷駅前には車両で混雑する。駐車場の確保の見通しを伺いたい。また、駅の多目的トイレはいつ完成するのか。

答 観光産業部長 駐車場は、駅周辺にある公共用

地などの活用を検討しているが、当面は臨時駐車場で対応できるよう準備を進めている。多目的トイレは12月に完成予定である。

問 ウォーキングコース内で観光情報を得るため、以前からQRコードの設置

を提案してきたが、どのように考えているのか。

答 総務企画部長 QRコードの利用は、イベントにおける実証実験の結果、「携帯電話の機能を使いこなせない人には、操作が分かりにくく面倒」という意見が寄せられた。また、県内を調査したところ、QRコードを利用したホームページへのアクセス数は非常に少なかったため、平成20年度の実施は見送られたが今後も検討していきたい。

宮光園の活用策は

検討委員会で作成

問 宮光園の具体的な活用方法を伺いたい。

答 観光産業部長 仮オープンでは、主屋と発見された資料類の展示が中心になる。今後は事後評価を行い、検討委員会で計画を作っていく。

問 検討委員会で出され

ている計画を伺いたい。

答 市長 まだ結論は出ていない。主屋は文化財の指定を受けにくいのが、醸造所と貯蔵庫は文化的な要素があるため修復を検討している。周辺道路や駐車場の問題もあるが、地元の意見を聞きながら進めていく。

問 県立射撃場の建設は、本市の観光にどのようなメリットをもたらすのか。

答 観光産業部長 県内外から来訪者が増加し、市内における消費活動が期待できる。何よりも、今まで来なかった人たちが訪れるということが大切だと考えている。

問 大和町日影地区にある産業廃棄物処理場は、地元住民から環境汚染への懸念があるが、市の管理監督について伺いたい。

答 市民生活部長 県は今後も不定期に立ち入り調査などをして監視を継続していく。市でも悪臭や水質

汚濁などを厳重に監視しながら指導をしていく。

問 増加する耕作放棄地の再生活用計画と実施方法を伺いたい。

答 観光産業部長 耕作放棄地を、①農業生産活動の展開を図る農地、②多様な活用方策により農村振興を図る農地、③林産物生産地として非農業的な活用を図る用地、以上の3区分に分類して5カ年計画で再生活用を進めていく。

問 甲州種ワイン原料ぶどうの長期栽培契約奨励制度を創設したが、経過を伺いたい。

答 観光産業部長 4月からの事業である。年度末には契約面積などの報告が可能と考えている。

問 災害時や非常時における地域自治活動について伺いたい。

答 総務企画部長 各地区に組織された自主防災会により、防災計画に沿った活動が必要である。

問 勝沼町の岩崎山にあるモトクロス場の現状を把握しているのか。

答 観光産業部長 安全管理面や環境面などに問題はなく営業している。



# 一般質問

## 一質

佐藤栄也議員

Q

### 税徴収率向上への取り組みは

A

### 収納担当職員を1人増員した

問 本市の税徴収率は県内で何番目なのか。また、徴収率向上のため、どんな取り組みをしたのか。

答 総務企画部長 本市の徴収率は90・8割であり、県内28市町村の中で15位である。本年度は収納担当を1人増員した。また、県が設立した収納対策推進機構へ職員を派遣し、ノウハウを学びながら収納率向上に取り組んでいる。

問 旧市町村別の滞納者数と差し押さえ件数を伺いたい。

答 総務企画部長 滞納者数は6月11日現在で、塩山地域が1880人、勝沼地域が419人、大和地域が66人である。20年度の差し押さえ件数は、塩山地域が167件、勝沼地域が43件、大和地域が23件、その他が30件である。

問 市の広報6月号には、滞納に対する財産の差し押さえや延滞金についての記

事が、かなり強い調子で掲載されていた。延滞金は納付日を1カ月間経過すると年14・6割になるが、この数字の根拠を伺いたい。

までの間、国民健康保険税の分納者に対して、短期保険証又は資格証明書の交付内容が異なっているが理由を伺いたい。

問 今年の3月から現在

問 柏尾山の鳥居焼をラ

イトアップしたらどうか。

収益率は8割で、7800万円の純利益を上げることができた。今後も一層努力していきたい。

### ぶどう郷マラソン

### 開催時期の再考を

問 ぶどう郷マラソンをぶどうの最盛期に開催してほしいがどうか。

答 観光産業部長 各イベントとの日程調整などの理由から、開催日を変更する予定はない。

問 ぶどうの丘事業管理者が就任して1年以上が経過した。ぶどうの丘の運営状況について、素直な感想を伺いたい。

答 ぶどうの丘事業管理者 涉外活動による誘客に努め、売り上げは9億8000万円となり、昨年度を7割上回る増収となった。

問 増築について市長の考えを伺いたい。

答 市長 86割の稼働率を見ると増築を進めたいと考えている。しかし、他の施設も老朽化している状況であり、全体を整備すると3億円以上の予算が必要になる。一般会計と企業会計は連結決算であるため、公債費比率を見ながら考えていきたい。

要望 本市の発展に向けて、甲州市・山梨市・笛吹市による大合併を提案する。積極的に働き掛けをお願いしたい。



税の徴収率向上を図るため担当課ではさまざまな取り組みが続く



一般質問  
議員  
丸山国一

Q 塩山駅にエレベーターの設置を

A 関係者と協議して検討していく

問 緊急追加経済対策により、国から各自治体に交付金が交付される。その内容を伺いたい。

答 総務企画部長 本市への交付金額は約4億3100万円であり、地球温暖化対策、少子高齢化社会へ

の対応、安全・安心の実現、その他将来に向けた地域活性化のための事業などを実施していく。なお、この交付金は起債が生じない。

問 パリアフリーの観点から今回の交付金を活用して、塩山駅にエレベーター

を設置したらどうか。

答 総務企画部長 駅舎及び駅周辺のバリアフリー化は、関係機関や駅周辺の方々と協議し、財源を含めた事業規模や内容等を今後検討していきたい。

問 多くの市職員が新型コロナウイルスに感染した場合の対応を伺いたい。

答 福祉保健部長 症状がある職員は、発熱相談センターの相談結果により、指定医療機関を受診させるとともに、入院又は自宅待機を促す。感染者が多数の場合、必要部署に職員を配置して、行政事務を維持できるように努めていく。

問 ゲリラ豪雨等の季節になるが、水路等の整備について伺いたい。

答 建設部長 ゲリラ豪雨による水路のはらんに対応するには、市内全域の水路断面を大きくする必要があり。現在は、地域の皆さんと相談しながら局部的

な改修を行っている。今後は、一級河川に放流するためのバイパス的な水路整備も検討していきたい。

観光立市を目指す  
条例をつくるべきだ

問 本市が観光立市を目指すため、観光に関する条例をつくるべきと考えるがどうか。

答 観光産業部長 有識者などによる策定委員会において、本市にふさわしい手法を検討していきたい。

問 バスによる移動アンテナショップを導入できないか伺いたい。

答 ぶどうの丘事業管理者 アンテナショップではなく、全国のコンビニにワインを卸すシステムを開拓していきたい。

問 これからは、観光地が自ら旅行プランなどを提案することが求められているが、どのように対応して

いくのか。

答 観光産業部長 中長期的に活動できる人材の確保が必要であるため、観光協会で1人の職員を採用する計画である。

問 まほろばの里ふるさと振興財団の運営を、どのように見直すのか。

答 観光産業部長 市の出資法人であり、指定管理団体でもある。必要な助言や指導を行い、今後の方向性を見出したい。

問 塩山地域には、於曾屋敷、旧千野学校校舎、三塩軌道などの歴史遺産があるが活用計画はあるのか。

答 観光産業部長 市のガイドマップに情報を掲載しながら、活用策を探っていく。

問 各種団体への活動補助金を増額し、市民との協働を図るべきではないか。

答 総務企画部長 必要な活動には必要な支援をしていく考えである。

問 地域福祉の考え方を伺いたい。

答 福祉保健部長 行政サービスだけでなく、地域の人たちが連携して生活するための支援環境を築き上げていくことである。



パリアフリー化が望まれる塩山駅。だれもが安心して利用できることが課題になる



# 一般質問

矢野義典議員

Q

インフル  
エンザ  
子どもの予防接種、  
2回目も助成を

A

臨時交付金を活用して実施する

問 国において成立した2009年度第一次補正予算の地域活性化経済危機対策臨時交付金を活用すれば、子どもインフルエンザ予防接種2回目の助成も可能と考えるがどうか。

答 市長 臨時交付金を活用して、2回目の接種についても助成を行っていく考えである。

問 新型インフルエンザ

対策として、必要に応じて児童・生徒にマスクの無料配布を実施することになった。加えて妊婦への無料配布を提言するがどうか。

答 福祉保健部長 これについても、国からの臨時交付金を活用して、約250人の妊婦に対して配布ができるよう準備を進めていきたい。

問 近年、グラウンドの

芝生化が進んでいる。低コストで施工が可能な鳥取方式を採用して、市内の校庭や公園の芝生化を推進すべきではないか。

答 教育長 児童・生徒の命にかかわる校舎の耐震化が緊急の課題である。校庭の芝生化については、取り入れた学校の実情を調査研究して検討したい。

## 太陽光発電の普及促進に努力を

問 本市は住宅用太陽光発電システムの設置に対する補助金制度がない状況である。太陽光発電システムの普及促進のためにも、補助金制度をつくるべきではないか。

答 市長 市の広報紙やホームページにより、国の補助金制度や県の利子補給制度を周知している。市による補助金制度の実施は、今後検討していく。

問 市内の公立小中学校に、太陽光発電施設を設置する考えはあるか。

答 教育長 重量がある発電パネルを屋上に設置することは、現在進めている校舎の耐震化への影響なども課題になる。今後は国の動向を注視しながら検討していきたい。

問 新しい市役所本庁舎に太陽光発電システムを導入したらどうか。

答 市長 新庁舎整備に伴うエコ整備事業に対して、5000万円の寄附をいただいた。これによりソーラーパネルを当初の計画よりも増設し、太陽光発電システムを導入する。

問 子育て応援手当の申請状況と今後の取り組みについて伺いたい。

答 福祉保健部長 手当ての支給対象者539人に対し、520人が申請済みである。19人の未申請者は個別に連絡を取ってお

り、早急に支給が完了すると考えている。

問 国は、女性特有の子宮頸がん検診や乳がん健診の受診率50%を目指すため、子宮頸がんは20歳から40歳、乳がんは40歳から60歳の該当者に対し、検診手帳と無料クーポン券を提供するが、本市の取り組みや事業スケジュールについて伺いたい。

答 福祉保健部長 7月に対象者の調査を予定している。8月は検診手帳とクーポン券の作成などを行い、9月に入り対象者へ配布する予定である。

問 国の子育て支援策により、小学校入学3年前までの子どもを対象に、子育て応援特別手当が支給される。今年度は1人当たり3万6000円が第一子から支給されるが、本市の取り組みを伺いたい。

答 福祉保健部長 今年度の子育て応援特別手当は、平成15年4月2日から平成18年4月1日生まれの子どもを対象として、第一子から支給される。本市では対象者を把握し、国の正式な実施要綱が示され次第、事業を進めていく。



政府が推進する住宅用太陽光発電システム。普及促進に向け設置世帯への補助金交付が求められている



# 一般質問

中村勝彦議員

Q

県立射撃場 意見を伝える対策委の設置を

A

安全性を確保するために必要である

問 塩山上小田原地内に移転計画がある県立射撃場は、技術的に鉛被害の発生しない施設と理解している。しかし、施設の運営が軌道に乗り、懸念事項が払しょくされるまで、市や地元の見解などを県に伝える対策委員会を設置できないか。

答 副市長 鉛対策は、環境省が策定したガイドラインに沿って、適正な管理と安全性を確保していく。対策委員会の設置は、射撃場の安全性を将来に向かって確保するため、必要であると考えている。

問 射撃音の問題が発生した場合の対応策を県は考えているのか。

答 副市長 射撃音の調査結果は、最も近い小松尾組地内でも、日常生活に問題はない数値であった。実際に施設の運用が始まり、対策が不十分な場合は、当然さらなる対応を県に求めていく考えである。

問 射撃場の建設予定地は、県の土石流危険区域に指定されている。射撃場の建設によって、土砂災害の危険度は現状よりも低下するのか。

答 副市長 土石流危険区域上流部の不安定な土砂を取り除く。また、防災施設の設置や水路改修を行うため、安全性は現状より高まると考えている。

問 市の12施設が指定管理者制度を導入しているが、施設によって成果に差が出ている。大菩薩の湯は、市民から営業時間の延長を望む声があるが、指定管理者と結んでいる協定書内容を見直すことはできるのか。

答 観光産業部長 指定管理前より、年間の開館日数は約50日増加している。閉館時間は4月から11月が1時間早めて午後8時、12月から3月が2時間早めて午後7時である。協定書の変更は、必要に応じてあり得ると考えている。

## グリーンロッジは売却などの検討を

問 神金地区にある大久保平グリーンロッジは、現在使用されていない。有効活用のため売却などを検討したかどうか。

答 総務企画部長 市の未利用財産が、有効活用されることは好ましいことである。現在、活用や処分の方角性を検討している。

問 新庁舎整備の現状と耐震対策を伺いたい。

答 総務企画部長 新庁舎整備は、来年7月中旬に引越しを終える予定である。耐震診断は、耐震基準のIS値0・6をクリアしている。

問 新庁舎が完成すると、他の市役所施設等に空きスペースが生まれるが、活用方法を考えているのか。

答 総務企画部長 さまざまな案があるが、民間への貸し出しも選択肢のひとつとして検討している。

問 下水道計画区域の見直しは可能なのか。

答 建設部長 地域の同意や峡東流域下水道の構成市や県との協議が必要となるが、今後市内全体の計画を見直す予定である。

問 学校給食における米飯と地産地消の推進について考えを伺いたい。

答 教育長 最近では米飯給食を増やしている。可能な限り地元の食材を使い、ご飯を主食にしたバランスの良い給食を提供していく。

問 県から配置された栄養教諭の役割は。

答 教育長 奥野田小学校を中心に市内の学校給食の充実と食育を進めたい。



現在、閉鎖されている大久保平グリーンロッジ。市における未利用財産の活用や処分が検討されている



# 一般質問

## 一質

野尻陽子議員

Q

### 広域ごみ処理施設の建設負担額は

A

### 本市の負担額は約27億円を試算

問 甲府市、笛吹市、山梨市、甲州市の4市で構成する甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合とは、どのような組織なのか。

答 市民生活部長 平成19年2月に事務組合が設置され、事務局員は10人であり、本市からは1人を派遣している。甲府市長が組合管理者、他の3市長は副管理者を務めている。組合議

会議員の定数は16人で、甲府市が8人、笛吹市が4人、山梨市及び甲州市が2人となっている。

問 事務組合のホームページや新聞などで、計画されている焼却炉の大きさが420トと報道されたが、これは正式な決定であるのか伺いたい。

答 市民生活部長 計画段階の数字である。

問 420トの焼却炉を採用すると、本市の負担金などはいくらになると予想されるのか。

答 総務企画部長 一般的な建設費が231億円と予想される。各市の負担割合は、均等割が10割、人口割が90割となる方向であり、本市の負担額は約27億円となる。この金額は、あくまで一般的な建設単価から割り出している。

率などを考慮して、施設規模を決定した。

### 葦崎射撃場の鉛弾年間量は約13トン

### 年間量は約13トン

問 県立葦崎射撃場で発射される鉛弾の量は、1年間どれくらいか。

答 副市長 平成19年度の利用実績からの算出で、1発当たり24g、一人が35発を撃ったと仮定すると、鉛弾の年間量は約13ト弱となる。

問 県は鉛弾の回収コストを含め、射撃場の維持管理費を年間どれくらいと考えているのか。

答 副市長 県は試算で約1300万円と説明している。

問 自治体の財政が厳しい中で、県は高額な維持管理費を支払い続けることができるのか。さらに大気汚染による酸性雨が、鉛に与える影響も心配される。本

市の財産のひとつは水資源であり、川の上流に射撃場があることは、地域の水源にダメージを与え、その価値を奪うことである。これは未来の世代に対する裏切り行為と考えるが、見解を伺いたい。

答 副市長 厳しい財政の中で節約は必要であるが、安心や安全に関することを惜しむことはない。

問 大口径ライフルによる射撃音の影響は。

答 副市長 鉄筋コンクリートに覆われた覆道式になっており、射撃音は外に漏れず、雨水が射場に入ることもない。

問 射撃場建設予定地における地質ボーリング調査の結果を伺いたい。

答 副市長 計画に先立つて2カ所でボーリング調査を実施している。取り出したコアを基に岩石を分析したものが、データとして使われている。地質の分布が確認された内容は、地上から地下に向かって、マサ土・強風化花崗岩・風化花崗岩・花崗岩で構成されている。花崗岩は非常に強い岩盤である。



ごみ処理は処理施設の建設など多額な経費が必要になる。市民一人ひとりにもごみを減らすための行動が求められている

答 市民生活部長 人口の減少化などを考慮しながら、ごみ減量目標を設定して、平成27年度のごみの量を予測した。平成24年度の合計人口を33万5136人、1人1日当たりの排出量を821g、焼却処理量を10万6591.5トと予測し、実稼働率と調整稼働



一般質問

曾根益彦議員

Q

裁判員制度の内容通知を凶ったのか

A

映画会の開催と広報紙で周知した

えば改良できるが、工事費は申請者負担である。

問 進入路の段差を解消するため、鉄製の補助板が設置されている箇所があるが、危険な場合は指導が必要ではないか。

答 建設部長 順次、指導していく。

問 道路占用制度の変更内容を伺いたい。

答 建設部長 生活に必要な通路や雨水の排水管等は占用料が免除となる。

問 昨年開通した国道411号と、上於曾から西広門田までを通る都市計画道路の愛称が、いずれも塩山パイパスであり不都合ではないか。

答 市長 違和感があるが、国道の名称を市で決めることはできない。煩雑になったことは確かである。

問 牛奥沢林道にある橋の改修整備は可能か。

答 観光産業部長 未整備部分は県に要望する。

問 道路脇に高く積まれた危機物に対する対応を2年前に要望したが、その後経過を伺いたい。

答 総務企画部長 所有者に対応をお願いしたが、現状は変わっていない。

置できないか。

答 建設部長 塩川を管理する県に要望していく。

問 清水橋から熊野橋までの河川整備の現状と、今後の予定を伺いたい。

答 建設部長 完成予定は平成25年度であり、現在は、護岸工事140㍎と根継工事524㍎を施工している。西広門田橋から熊野橋までの右岸は、今年度測量を実施予定である。

問 市道に隣接する私有地などは、進入路の幅に関する市の要綱が変わったが変更内容を伺いたい。

答 建設部長 入口幅は8㍎が12㍎まで延長された。入口を2カ所設ける場合の敷地延長は、51㍎以上を41㍎以上とし、各入口の間隔は35㍎以上から24㍎以上とした。

問 改正前に整備した入口幅などの改良は、申請すれば許可されるのか。

答 建設部長 条件が整

取ることができる。

問 裁判員となった市民は、仕事の欠勤や休業を余儀なくされ、収入が減少する可能性がある。市として減額分を援助する考えはあるか。

答 総務企画部長 現時点で援助の考えはない。

問 塩山牛奥地内から勝沼町山地内において農道・水路・ほ場などを整備する細総事業への取り組みを伺いたい。

答 観光産業部長 今年度は基礎調査を行っており。地元役員会と県でまとめた基本構想図を基に、整備箇所を選定して総事業費をまとめる予定である。

塩川のたい積土砂除去の予定はあるか

問 塩川は河床に土砂がたい積しているが、除去の予定はあるか。また、左岸の堤防上にフェンス等を設



土砂のたい積により河床が上がっている塩川。大雨が降るとすぐに水位が上昇するため早急な対応が必要になる

問 裁判員制度がスタートした。市民や市職員に対する内容の周知等、これまでの取り組みを伺いたい。

答 総務企画部長 任意団体主催の裁判員制度映画会や、裁判所が開催する説明会を市の広報紙に2回掲載した。市職員の研修などは行っていない。

問 小中学校の教育課程における裁判員制度の取り

扱いを伺いたい。

答 教育長 教科書に制度の始まりが少し掲載されている状況である。

問 市職員が裁判員に選任された場合、出廷による休暇や日当の取り扱いはどうなるのか。

答 総務企画部長 有給休暇を取得する。日当は、公務員法で制限される報酬には該当しないため、受け



# 市民フォーラム テーマ「市内のイベントについて」



果物の販売イベントを  
入倉金ヨさん（塩山下塩後）

まちづくりによく多くの市民が取り組む姿はとても素晴らしいことですね。わたしが不思議に思うのは、果物王国のまちでありながら、最盛期に街中で果物を見かけないことです。観光客が多く訪れる土・日曜日などに、駅前や中心市街地で生産者においしいモモやスモモを用意して頂き、販売イベントをやってみてはいかがでしょうか。それをインターネットで広く宣伝したなら、大いに活性化に結びつくことでしょう。年間とおして観光客を呼ぶには、特に夏の果物を目玉にすることが大切だと思います。市場出荷の規格が厳しいと聞きますが、果樹農家の皆さんが、新鮮で安全なものを提供してくれること、これが消費者にとって一番の幸せになると思います。



駅からハイキングの復活を  
古屋一美さん（大和町初鹿野）

名峰大菩薩嶺をはじめ大蔵高丸、湯の沢峠、日川深谷、嵯峨塩溪谷など大自然に囲まれたわたしの住む大和町は、過去何度かJRが主催する甲斐大和駅からの「駅からハイキング」が実施されていました。女性ボランティアの人たちが作る山菜たっぶりのほうとうのサービスを受け、天目山温泉につかり疲れをいやしてお帰りになる。参加者からは大変好評のコースです。また、武田家終えんの地、景德院、天目山栖雲寺をはじめ、先人が残し、伝承してこられた有形・無形の文化財も数多く、歴史文化の探訪も兼ね、新緑から紅葉の季節までそれぞれ美しく、自然豊かな溪谷美を満喫できる。甲州市のイベントの一つとして、遊歩道整備を進め「駅からハイキング」の復活を願うところです。



統廃合に向けた見直しを  
秋山隆善さん（塩山上於曾）

甲州市が合併して4年が過ぎようとしています。この間、市内で行われている大きなイベントは、勝頼公祭り、大菩薩登山競走、ぶどう郷マラソン、ぶどうまつり、およっちょい祭りなどであるが、いずれも合併前から旧市町村で行われてきたイベントです。せっかく合併したのに、各イベントには市民としての一体感が無く、今までの流れの中でただ行っている感が否めません。多額の税金が投入されている祭事が、「このままで良いのかな」と思います。できたら各イベントの廃止や統合に向けた見直しを行い、そして市民が塩山、勝沼、大和の地域性を考えず、外郭団体に任せず、甲州市が中心となって全員が参加できる新しいイベントの設立をと思います。



来訪者との触れ合いが大切  
三澤和子さん（勝沼町上岩崎）

最近わが家の前も、地図を片手にリュックを背負ったワイナリー巡りの人たちが行き交う姿が多くなつた。市が進めているいろいろなイベントの成果だろう。とても良い事と思うが、女性の立場からふと思う。休憩は？トイレは？……など。道沿いの家に協力をお願いし、休憩ができてトイレの心配のないコースづくりが必要！ワインだけでなく、地域の文化財や見所、名産のぶどうジャムや月の掬くりなど、訪れる人と交流し、触れ合う場が大切と思う。

今年のぶどうまつりには、鳥居焼きの護摩木に小学生が願いを書いた祈願木が使われると言う。ぶどうの郷が皆の知恵と力で支えられていくことを願っています。

## 市民フォーラム



## 総務

### 市内の高齢者世帯に 火災報知器を設置

総務常任委員会に付託された事件は5件。6月18日に第一会議室で開催した審議内容を要約してお伝えします。

■甲州市条例の一部を改正する条例制定について  
問 この条例が制定された場合、市税への影響について伺いたい。  
答 税務課長 住宅借入

金等における特別控除の影響で、市民税は約584万円減額すると予測している。  
問 長期譲渡所得の控除額について伺いたい。  
答 税務課長 土地の流動化を促進するため、1000万円の控除を与えるが、結果は5年後に出てくる。  
■平成21年度一般会計補正予算(第2号)

#### 歳入

問 寄附金の具体的な内容をお願いしたい。  
答 財政課長 新庁舎の移転整備に伴うエコ事業のために、5000万円の寄附を受けた。  
■国土調査事業成果の誤り等修正に係わる責任に関する和解について  
問 国土調査終了後に本

#### 歳入

人が閲覧しているが、過失を問えるのではないか。  
答 管財課長 過去の判例では、過失責任は一切問われていない。  
■平成21年度一般会計補正予算(第3号)  
問 小中学校の地上デジタル放送対応テレビは何台購入するのか。  
答 財政課長 小学校13校で70台、中学校5校で30台を予定している。  
問 火災報知器の取り付け計画を伺いたい。  
答 財政課長 民営や県

#### 問

副市長は、地元の見を吸い上げる別の対策委員会を立ち上げると答弁しているがどうか。  
答 総務企画部長 具体的には言えないが、その方向で間違いない。  
※本請願には異議が出され、採決の結果、賛成少数で不採択すべきものとした。



東山梨消防本部管内では平成23年5月までにすべての住宅で火災警報器の設置が義務付けられている

## 教育民生

### 栄養教育を図るため 県から栄養教諭が赴任

教育民生常任委員会に付託された事件は、条例案や一般会計補正予算案など合計5件。6月17日に第一会議室で開催した審議内容を要約してお伝えします。  
■甲州市国民健康保険税

条例の一部を改正する条例制定について  
問 資産割を下げるとうことは、応益割合に転化するということか。  
答 健康増進課長 資産割の徴収は、二重課税との

指摘があるため段階的に下げる。他の税率は据え置きとする。  
■平成21年度一般会計補正予算(第2号)  
問 公立保育所の在り方について検討会から提言が



# まほろば財団の 労災事故に議論が集中

建設経済常任委員会は、6月16日に第一会議室で開催しました。審議の内容を要約してお伝えします。

■平成21年度一般会計補正予算（第2号）

問 全国消費実態調査の内容を伺いたい。

まほろば財団の職員から状況説明を受ける建設経済常任委員



答 農林商工課長 5年ごとに実施され、世帯の収入、支出、貯蓄、負債など家計資産が調査される。今回は予備調査である。

問 中国で「山梨勝沼」の地名が商標登録申請されたことに対して、県や甲州市などは異議申し立てをしたが、結論が出るのはいつ頃になるのか。

答 農林商工課長 特許事務所によると、2年から3年は掛かる。長引くと5年になる場合もある。

問 部外者が登録するより先に、商標登録を申請する考えはないのか。

答 農林商工課長 これまで具体的な検討はしていない。各業界団体に対して、先駆的な取り組みを働き掛ける必要があると考える。

問 商工費に計上されている4700万円は、まほろばの里ふるさと振興財団の施設で発生した労災事故の訴訟和解金である。本補正予算案が否決された場合

あったが、今後の運営計画を伺いたい。

答 子育て対策課長 保育サービスの継続は、地域の理解を得ながら、民間活力の活用が必要である。検討会では、統廃合による適正運営などの方向性がまとめられているため、本年度

末に着手する予定である。

問 リサイクルステーションへの不法投棄対策について伺いたい。

答 環境課長 不法投棄には罰則がある。広報紙やホームページなどで、防止に努めていく。

問 県から栄養教諭が派

後を絶たないリサイクルステーションへの不法投棄



遣されたが、今後の活動予定を伺いたい。

答 教育総務課長 奥野田小学校を拠点に、栄養教育や食育を進める。また、月1回小中学校に食育だよりを配布する。

■平成21年度甲州市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

問 平成20年度の繰越額とその理由を伺いたい。

答 健康増進課長 約1億3800万円であり、交付金が最大の理由である。

■平成21年度一般会計補正予算（第3号）

問 予算化されたがん検診は、単年度限りの事業であるのか。

答 健康増進課長 国の補助金は今年度限りであるが、県をとおして最低5年間は継続できるよう要望していく。

はどうなるのか。

答 観光課長 ふるさと振興財団には、和解に応じる資力がないため和解成立は困難となり、運営不能に陥ることになる。

問 管理監督者から、安全管理上の指導を行っていると思うが、当時の指導体

制を伺いたい。

答 観光産業部長 適切な指導が行われていたと思うが、起きてはならない事故だと考えている。

問 事故のあった施設では、さまざまな機械を使用しているが、再発防止対策について伺いたい。

答 観光課長 事故後により安全性の高い機械を使用している。また、従業員の雇用は、ある程度年齢に配慮して採用している。

※本議案には異議が出されなかったが、採決の結果、賛成多数で可決すべきものとなりました。



元気にしてくれるふるさと  
山口県周南市



佐藤秋恵さん（大和町初鹿野）

日本海と瀬戸内海に囲まれた防長路、遠くに見える造船所のクレーン、製油所、化学工場が続くとまもなく徳山駅、ホームに立つと正面には貨物船が停泊している徳山港。車に乗ること10分、トンネルを抜けて町並みを過ぎると、わたしの生まれ育ったふるさとです。風にゆれる青々とした水田とかえるの声。夏の夜は灯りを消して障子を開けると、蚊帳の中から見えるのは乱舞するホタル、その美しい光に魅了されました。遠く船の警笛が聞こえると、雨が降ると教えてくれた祖母。寒くなると毎日田んぼに来て落穂をついばんでいるナベツル。国の天然記念物で本州唯一のナベツルの飛来地として知られています。羽を広げゆうゆうと空を飛ぶ姿は優雅でした。今は環境の変化で減少しましたが、風の音祭りのにぎわい風景を思い出すことで、わたしを元気にしてくれるふるさとです。

有料広告

常に最先端の技術で  
お客様のニーズに応えます。

深層土壌汚染関連最新鋭掘削機  
パイプロ・ロータリードリル™ SP-50™  
補助パワーユニットを装備し、より  
パワフルな作業を可能にしました。

株式会社 東亜利根ボーリング

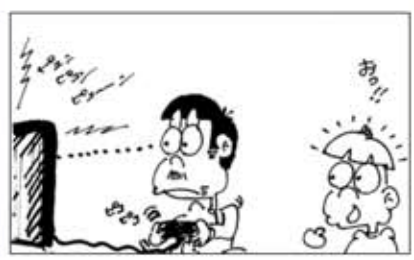
塩山工場 〒404-0047 甲州市塩山三日月市場1900-1  
TEL 0553-20-2600 / FAX0553-20-2660

水でプラス+カラダにプラス  
甲州の天然水に  
水素を入れこんだ水素水

Win Win!  
Recover Water  
水素水

お問い合わせは  
株式会社 アスリートジャパン  
塩山工場：甲州市塩山三日月市場1900-1  
お客様相談室：0120-512-851  
http://www.winwinwater.com/

「甲州はいいよ!!」  
No.12 「テレビ・ゲーム」 作・三森 清



傍聴してみませんか?

次回の定例会は9月上旬の開会を予定しています。市議会はどなたでも傍聴できますので、ぜひお出かけください。

■傍聴席入口で受付簿に氏名、住所を記入し入場していただきます。  
■日程などについては、定例会前の議会運営委員会で決定しますので、決まりました市議会ホームページなどでもご案内します。なお、ご不明な点については、議会事務局までお問い合わせください。 ■(32)2111 内線302

こちら編集室

■毎日暑い日が続いていますが、皆さまにはお元気で活躍のことが存じます。ぶどうや桃の実も目を追って成長し、収穫への期待も大きくふくらむ頃となりました。甲州市は果実のまちとしていよいよ活気あるシーズンを迎えます。不景気風をも吹きとばす、勢いに溢れることを期待します。■今号の議会広報は座談会「新議長と語る」を特集し「甲州市の今と未来への提言」と題して3人の方から貴重なご意見をいただきました。議会の中でこ

- のような市民の皆さまの意見を生かしていきたいと思いましたが、再び編集委員になりましたが、相変わらず文章の難しさと締め切りが苦しいです。議会審議の内容を分かりやすく正確にお伝えして、皆さまに親しまれ、ご理解いただける議会広報の編集に努めてまいります。ご意見、ご感想をお寄せください。(古)
- 市議会議員 平塚 義  
編集委員長 中村 勝彦  
副委員長 廣瀬 重治  
委員 岡 武男  
委員 古屋 匡三  
委員 矢野 義典  
委員 武藤 雅美